

基本理念

「学び」の力で未来を拓き、夢を実現する人づくり

基本目標

1. 生きる力と創造性を育む信州ならではの「学び」を実践します。

《重視する視点》

- ・ 幼児期からの成長段階に応じた「縦」のつながり
- ・ 子ども一人ひとりの資質・能力を伸ばす「学び」の機会と質の保証
- ・ 主体的に学ぶ意欲と社会の変革に対応できる資質・能力の育成
- ・ 実体験を通して感性や社会性、人間性を磨く教育
- ・ これからの教育の姿を見据えた教育環境の整備

2. 社会全体で、すべての子どもたちが、良質で多様な学びの機会を享受できるようにします。

《重視する視点》

- ・ 子ども一人ひとりの多様性を尊重した「学び」の機会の提供
- ・ すべての子どもの「学び」を切れ目なく支える教育
- ・ 学校・家庭・地域等社会全体の「横」の連携、協働

3. 誰もが、生涯、学び合い、学び続け、自らの人生と自分たちの社会を創造できる環境をつくりします。

《重視する視点》

- ・ 生涯にわたる主体的・創造的な学びの環境整備
- ・ 文化やスポーツを楽しむことのできる環境整備

～基本理念や基本目標を定める視点～

- 社会の変化が激しいこれからの社会を生き抜くため、これまでの教える側と教わる側が固定した教育から、教える側と教わる側が固定しない、自ら、主体的に課題に気づき、その解決に向けて行動するための源泉となる主体的な「学び」への転換
- 学校教育段階においては、新しい「学び」を支えるため、幼児教育段階からの学校教育の大胆な変革
- 人生100年時代を迎えるにあたって、子どもたちの学校における「学び」のみならず、子どもから大人まですべての県民が、「だれでも、いつでも、どこでも、学び、学び合うこと」ができる「学び」の環境整備
- 長野県のポテンシャル（ローカルポテンシャル）を生かした信州ならではの取組による、子どもたちの「生き抜く力」の育成

施策1 「未来を切り拓く学力の育成」

○ 「確かな学力」を伸ばす教育の充実

背景・課題

- ▶ 急激な社会変化・グローバル化
- ▶ 基礎的基本的な知識技能を活用する力やコミュニケーション能力等（活用力、課題探究力、人間関係形成力）を伸ばすための「個に応じた指導」「新たな社会を創造する力」（皆で協働して解を得る力、自らが主体的に社会に参画し未来を創り出そうとする力等）を育む高校づくり
- ▶ 「探究的な学び」の手法を取り入れた教員の実践的指導力の向上、授業改善に向けた教員の意識改革
変化する大学に対応できる思考力・判断力・表現力の更なる育成
- ▶ 20年、30年後を見据えた高校施設・教育施設の改善

主な取組

《小・中学校》

- ▶ 信州少人数教育推進事業
30人規模学級編制等に必要な教員配置、個々に応じたきめ細かい指導、学習習慣・生活習慣の確立と基礎学力の定着
- ▶ 学力向上支援
S-P表活用による授業改善支援、重点対策チームによる各学校に応じた学力課題解決支援
- ▶ 信州型ユニバーサルデザイン学校支援事業
「自分らしく学ぶことができる授業・学級づくり」に取り組む学校への出前講座等の支援、実践例普及
- ▶ 学びの改革実践校応援事業
「学びの改革」に取り組む学校へのアドバイザー派遣等の支援、実践例の普及

《高等学校》

- ▶ 「未来の学校」構築事業
「卓越した探究的な学び」等の先進的・先端的な研究・実践に取り組む学校への支援、実践例普及
- ▶ 地域との協働による高校教育改革推進事業
地域課題の解決等を通じた学習を各教科・科目等において体系的に実施するための教育課程構築支援
- ▶ 高校再編・整備計画
一次分として、旧第1(岳北)・第6(佐久)・第8(上伊那)・第9(南信州)について決定、
二次分として、旧第2(中野・須坂)・第5(上田)・第10(木曾)・第8(上伊那)の未確定分について決定
- ▶ カリキュラム編成支援事業
生徒や学校、地域の実態等に応じた特色ある教育課程や「学び直し」に係る内容を編成する学校を支援
- ▶ 高校空調整備
普通教室及び一部の特別教室等空調設備整備

《小・中学校、高等学校》

- ▶ ICT教育推進
校内無線LAN・端末整備等環境整備、ICT支援員派遣、ICT教育推進センター設置、ICT活用実践校支援

現状等

○全国学力・学習状況調査結果

平均正答数・正答率が全国平均と同程度、全国中位の範囲で推移。

長野県と全国の平均正答数と平均正答率の比較(公立)

校種	年度 教科	令和3年度		令和元年度	
		長野県	全国	長野県	全国
小学校	国語	8.9/14問 63%	9.1/14問 64.7%	8.9/14問 64%	8.9/14問 63.8%
	算数	11.1/16問 70%	11.2/16問 70.2%	9.2/14問 66%	9.3/14問 66.6%

校種	年度 教科	令和3年度		令和元年度	
		長野県	全国	長野県	全国
中学校	国語	9.1/14問 65%	9.0/14問 64.6%	7.3/10問 73%	7.3/10問 72.8%
	数学	9.1/16問 57%	9.1/16問 57.2%	9.5/16問 60%	9.6/16問 59.8%

全国平均との差

		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
小学校	国語A	1	0	0	1	0	1	0	未実施	▲2
	国語B	1	1	1	1	▲1	0			0
	算数A	1	1	0	▲1	▲1	▲2	▲1		0
	算数B	2	1	0	0	0	▲2			
				0 理科			1 理科			

		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
中学校	国語A	1	1	0	0	1	0	0	未実施	0
	国語B	▲1	▲2	▲1	▲1	0	0			0
	数学A	▲2	0	0	▲1	▲1	▲1	0		0
	数学B	▲2	▲2	▲1	0	0	▲1	▲2		
				0 理科			0 理科	▲2 英語		

※令和元年度から「知識と活用」区分(A・B問題)を統合

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響等から中止

施策2「信州を支える人材の育成」

背景・課題

- キャリア教育の充実
 - ▶ 技術革新の急速な進展、若者を取り巻く経済社会の状況変化
 - ▶ 学ぶことと**自己の将来が見通せるキャリア教育**の推進
 - ▶ 専門高校における、**地域や産業界と連携した実践的なカリキュラム**
 - ▶ **学校教育と職業生活の円滑な接続**、子ども若者に望ましい**職業観・勤労観**、知識技能の修得
- 長野県・地域を学ぶ体験学習
 - ▶ 自らが育つ**長野県の特徴やよさを学ぶ機会**の充実、**郷土への誇り・愛着**の形成
 - ▶ **自然の中や地域で遊ぶ経験**、子ども達**同士の人間形成力**、**たくましく生き抜く力**の創出・育成
- 世界につながる力の育成
 - ▶ **日本人としての誇り**を持ち、**国際人**として活躍できる人材の育成
 - ▶ **小学校における外国語教育**の充実、**地域や世界に貢献する人材育成**という成果の視点での高校づくり
- 高等教育の充実
 - ▶ 県内の大学進学者の多くが県外に進学、**県内大学の卒業生の約4割が県外に就職**
 - ▶ 県内高等教育機関の**知的・人的資源の地域や社会の課題解決への活用**、**学生が地域への理解を深めることによる県内人口定着への契機**

主な取組

- キャリア教育の充実
 - ▶ **キャリアデザイン力育成**
産官学が連携した新たなキャリア教育のモデル構築、企業や県の各部署が連携した**職場体験・インターンシップ**や説明会の開催、**幼保小中高各段階でのキャリアパスポートの継続活用**
 - ▶ **高大接続改革対策支援事業**
大学入試改革に対応した**進路指導研究**、**地域や複数の高校の生徒・教員が協働して講座や合宿を行う学校間連携の実施**
- 長野県・地域を学ぶ体験学習
 - ▶ **「高校生学びのフォーラム&信州学」推進事業**
「信州学」を推進する学校支援、探究学習の成果を学校の枠を越えて発表し学び合う場の設営
 - ▶ **自然教育・野外教育推進事業**
新たな自然教育・野外教育プログラム実践学校支援、**森林・野外インストラクター派遣**
 - ▶ **信州型コミュニティスクール**
地域と学校が連携・協働した**体験活動や地域学習等を推進**

主な取組

○ 世界につながる力の育成

▶ 「海外での学び」推進事業(信州つばさプロジェクト)

高校生対象の海外留学プログラム実施、個人留学支援、留学フェア実施

▶ グローカル人材育成事業

英語での探究成果を発表・討議するカリキュラム開発、英語担当教員研修支援

▶ STEAMプラットフォーム支援事業

高校生が校内外の学びの場でSTEAM(文理融合型の「探究的な学び」)探究の機会提供

▶ 科学教育推進事業

科学オリンピック養成、産官学連携科学研修、スーパーサイエンスハイスクール指定校支援、信州みらいクリエイターズ育成

○ 高等教育の充実

▶ 長野県立大学開学(H30.4)、清泉女学院・長野保健医療大学看護学部設置(H31.4)

▶ 高大連携・地域連携

大学教員等による高校での講座・セミナー等開催、産官学連携による地域貢献担い手育成

現状等

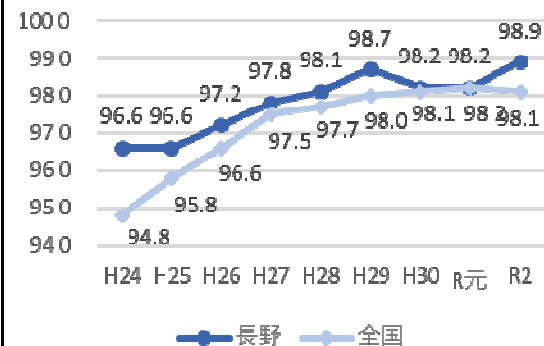
○ 高校卒業者(公・私)の就職率・進学率(文科省「学校基本調査」)

就職率は、全国平均を上回り、全国中上位の範囲で推移。

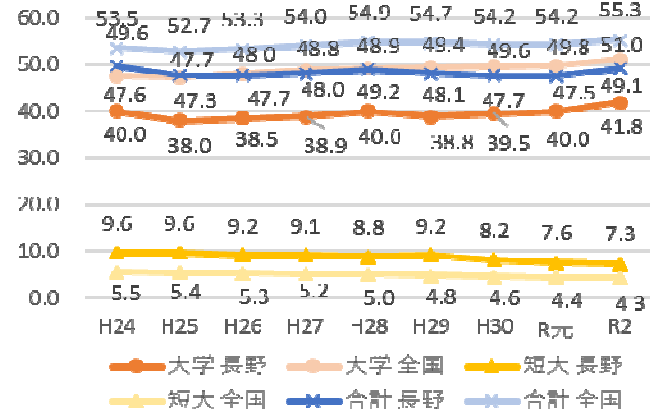
進学率は、全国平均を下回り、全国中下位の範囲で推移。

(大学進学率は全国より下回り、短大進学率は全国より上回り全国1位の年も)

● 就職率(就職者/就職希望者)



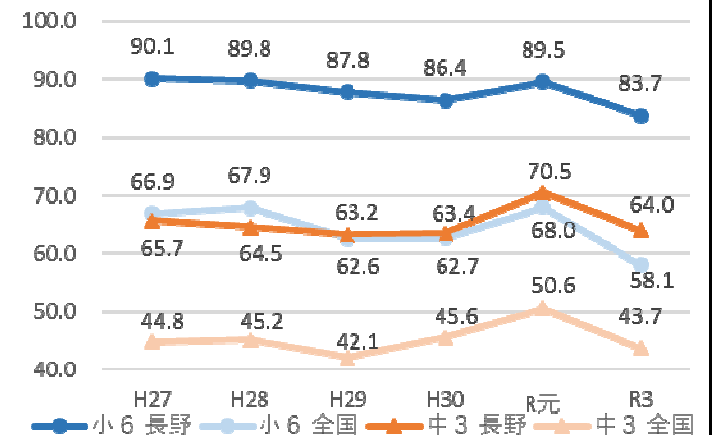
● 進学率(進学者/卒業者)



○ 「今住んでいる地域の行事に参加している」

回答割合(全国学力・学習状況調査)

小学校、中学校ともに、大幅に全国平均を上回って推移。



○ 海外への留学率(文科省「国際交流等の状況調査」「学校基本調査」)

	H27	H29		H27	H29
長野	0.72 (31位)	1.17 (22位)	全国	1.05	1.43

※留学率: 在学中に留学した高校生の割合

※2年ごとの文科省調査、R1はコロナ等により調査中止

施策3 「豊かな心と健やかな身体の育成」

背景・課題

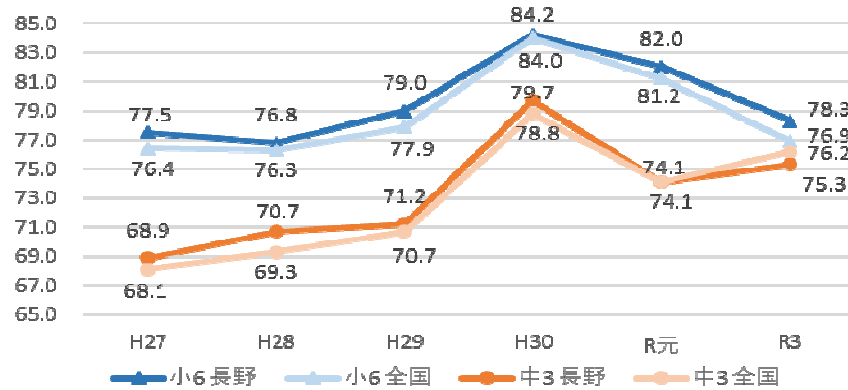
- 豊かな心を育む教育
 - ▶ メール、HP、SNS等ネット上の誹謗中傷、有害情報掲載、写真無断使用等の人権問題
 - ▶ 子どもの**自己有用感**を育み、**自他の尊重意識**を高める、人権課題解決意欲と実践力の形成
 - ▶ 日常の様々な**危険**を予測し、**自他の安全に配慮**して安全な行動をとる力を身に付ける
- 体力の向上・健康づくり
 - ▶ 少子化や都市化などによる**遊ぶ場所、遊ぶ仲間、遊ぶ時間、体を使う機会**の減少
 - ▶ **女子体力の低水準**、積極的に運動する子どもとそうでない子どもの二極化
 - ▶ 生活スタイルや社会情勢の変化による**ひとり又は子どもだけで食事をする状況**の増加
- 幼児教育・保育の充実
 - ▶ 少子化、核家族化等による**子育ての孤立化**、不安を抱く保護者の増加
 - ▶ 全ての就学前児童が質の高い幼児教育・保育を受けられるための**体制整備**
 - ▶ 幼保小中高の教育の円滑な接続のための**関係機関の連携強化**

主な取組

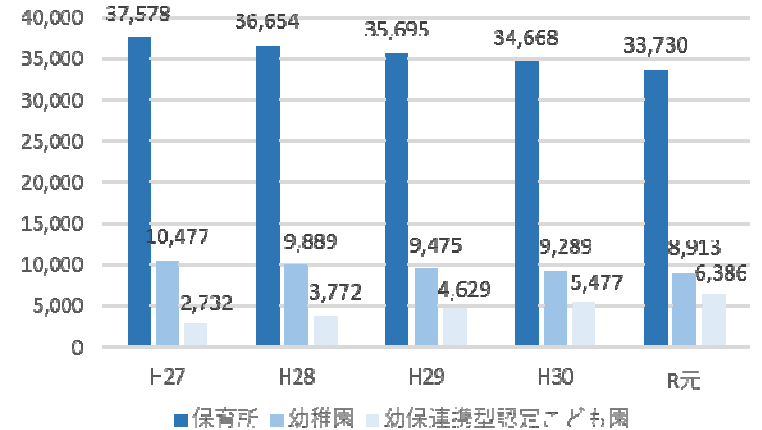
- 豊かな心を育む教育
 - ▶ **道徳教育総合支援事業**
新学習指導要領に基づく道徳の授業づくりのための指導資料の作成
 - ▶ **学校人権教育推進事業**
学校人権教育研修会・ファシリテーター研修会の開催
- 体力の向上・健康づくり
 - ▶ **新たな運動部活動支援事業**
学校間の連携による合同部活動や地域スポーツ団体との連携による「ゆるスポ活動」の取組支援
 - ▶ **部活動指導員任用・配置**
公立中学校への部活動指導員の任用支援、県立高校への部活動指導員の配置
 - ▶ **地域運動部活動推進事業**
休日の部活動の段階的な地域移行に向けた人材確保の仕組構築、実践研究校・地域支援
 - ▶ **安全・安心な学校給食及び食育の推進事業**
学校・家庭・地域と連携した食育推進、栄養教諭学校栄養職員の専門研修
- 幼児教育・保育の充実
 - ▶ **幼児教育支援センター運営**
園種を越えたフィールド研修実施、保育者研修の体系化、幼保小接続カリキュラム作成
 - ▶ **長野県版運動プログラム普及・定着**
幼少期からの運動の習慣化を目指す「長野県版運動プログラム」の普及・定着

現状等

○「自分には良いところがあると思う」回答割合（全国学力・学習状況調査）
 小学校、中学校ともに、全国平均と同程度、全国中位の範囲で推移。



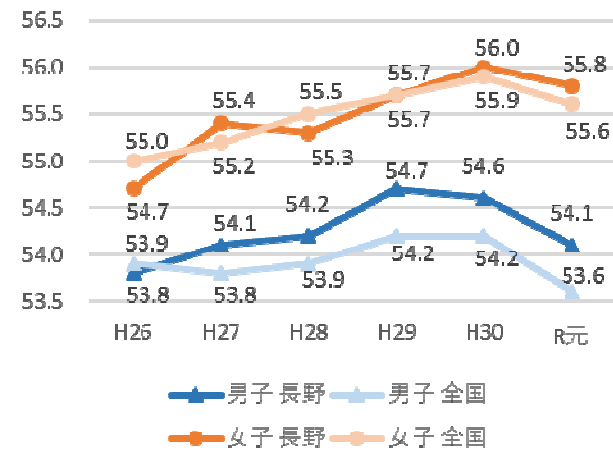
○幼稚園、保育所等の入園入所者数（3歳以上）



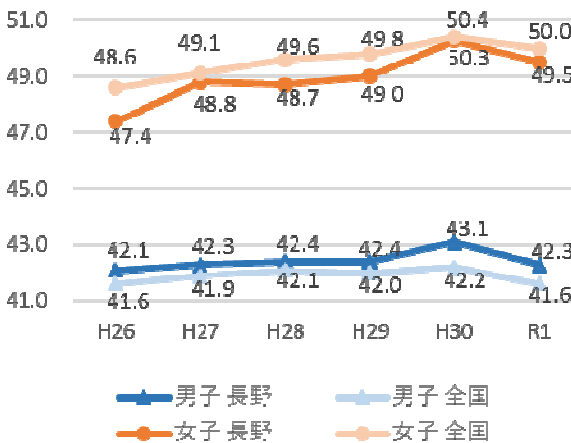
（文科省「学校基本調査」、厚労省「福祉行政報告例」）

○児童生徒の平均体力合計点（全国体力・運動能力、運動習慣等調査）
 中学校の女子が、全国平均を常に下回って推移。

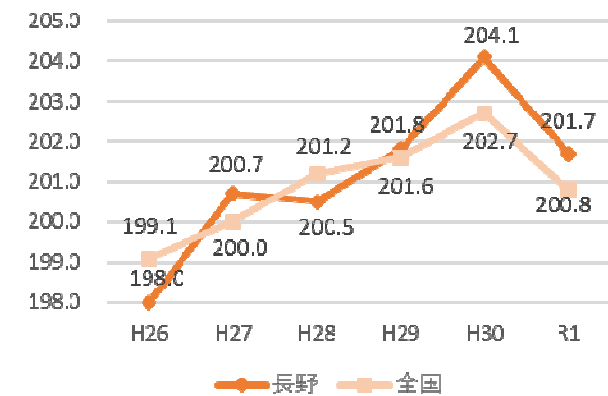
<小5>



<中2>



<総合>



※体力合計点：各8種目の記録を男女別に点数化(1～10)した合計点(80点満点)

施策4「地域との連携・協働による安全・安心・信頼の環境づくり」

背景・課題

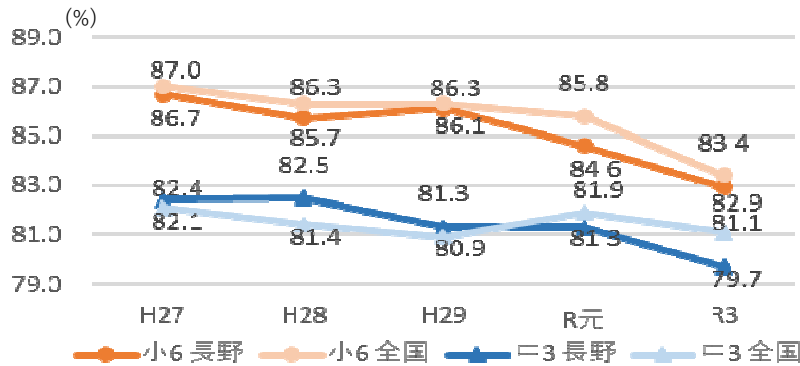
- 地域・家庭と共にある学校づくり
 - ▶ 家庭環境、地域社会の変化による**地域全体で家庭教育を支える必要性の高まり**
 - ▶ **教職員の業務改善、管理職のマネジメント能力の向上**
 - ▶ 少子化による複式学級の増加、**中山間地域、小規模校の学校のあり方**
- 教員の資質能力向上と働き方改革
 - ▶ 受講者の自主性を重視する研修、キャリア方針を自ら立てることに資する**教員評価のあり方**
 - ▶ **女性管理職の積極的な登用、教員の業務削減・分業化・効率化等の働き方改革の実践**
- 安全・安心・信頼の確保
 - ▶ 災害・事件事故から子どもを守る環境整備、**地域全体で子どもの安全を見守る体制づくりの推進**
 - ▶ **メディアリテラシー向上に向けた取組、地域全体で子どもを性被害から守るための取組の推進**

主な取組

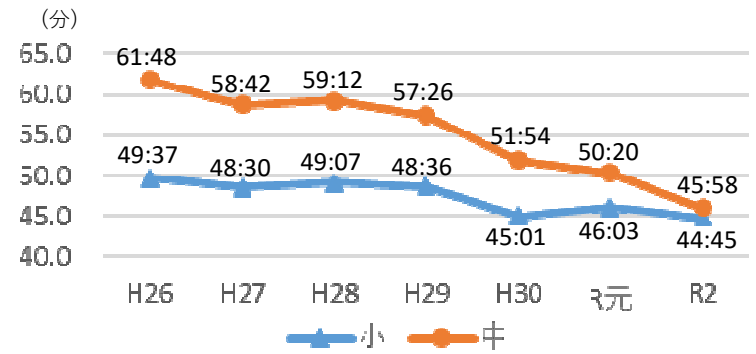
- 地域・家庭と共にある学校づくり
 - ▶ **信州型コミュニティスクールの促進**
地域との連携・協働による学校づくり支援（アドバイザー派遣、コーディネーター等研修、先進事例発表等普及啓発）
 - ▶ **学校評価の推進**
学校の自己評価に合わせ、地域住民等を学校評議員として設置し、学校関係者評価を実施
 - ▶ **中山間地域の新たな学びの創造事業**
ICTの活用や異年齢集団による探究的な学びなどの新しい学びのスタイルを実践する学校を支援
- 教員の資質能力向上と働き方改革
 - ▶ **教員の資質向上・教育制度改善、教職員研修**
コンプライアンス委員会・コンプライアンスアドバイザー、教職員通報相談窓口設置、教員が効果的継続的に学び続けることができる研修
 - ▶ **「学びの改革」フロンティアスピリッツ事業**
教員が国内外の先進的・先端的な教育や企業等の現場から学び、教員の意識改革を推進
 - ▶ **指導力不足等教員改善事業**
児童生徒に対する教育の責任が果たせないと判定された教員への研修等の実施
 - ▶ **スクール・サポート・スタッフ配置**
授業以外の諸業務を補助的に行うスクール・サポート・スタッフを配置
- 安全・安心・信頼の確保
 - ▶ **学校安全指導力向上事業**
学校における安全や危機管理に関係する専門的研修等の実施、教員指導力の向上
 - ▶ **学校安全総合支援事業**
学校防災アドバイザー（学識経験者等の専門家）派遣、安全教育に関する公開授業の実施
 - ▶ **性被害防止に向けた指導充実事業**
性被害防止教育キャラバン隊派遣、教員研修・指導資料作成提供、リーフレット作成等普及啓発

現状等

○「学校へ行くのが楽しい」回答割合（全国学力・学習状況調査）
 小学校、中学校ともに低下傾向の一方、全国平均と同程度、
 全国中位の範囲で推移。

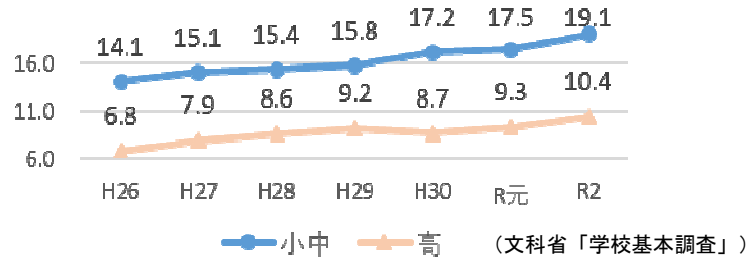


○教職員1人あたりの1か月平均時間外勤務時間（12月）
 小学校、中学校ともに減少傾向。



(義務教育課調)

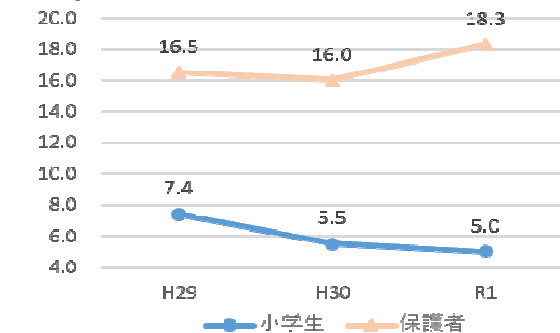
○女性教員の管理職登用状況（公立小中・高の女性校長・教頭の割合：%）
 小中学校、高等学校ともに、割合は上昇傾向。



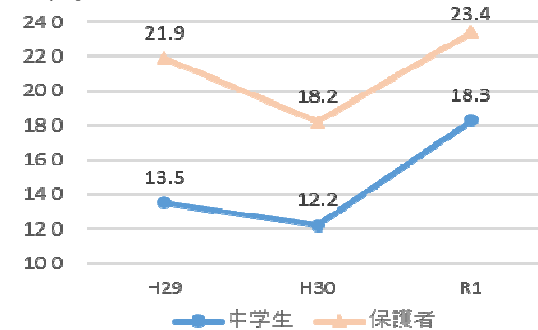
(文科省「学校基本調査」)

○自分には（お子様には）「ネット依存の傾向がある」と思う児童生徒・保護者の割合（%）

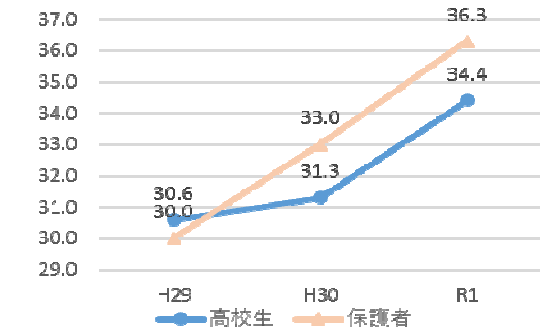
<小学生>



<中学生>



<高校生>



(心の支援課調)

施策5「すべての子どもの学びを保障する支援」

背景・課題

- いじめ・不登校等悩みを抱える児童生徒の支援
 - ▶ 不登校要因について、全国と比べ、無気力・不安に次いで、小学生は家庭状況、中学生は学業の不振、高校生は友人関係の割合が高い
 - ▶ **不登校未然防止のための魅力ある学校づくり**、関係機関が連携した不登校児童生徒への効果的な支援
 - ▶ 学校や保護者、地域の大人のみならず、**子どもたちが主体的にいじめの問題に取り組む必要**
- 特別支援教育の充実
 - ▶ 障がいの状態の多様化を踏まえた個に応じた支援や多様性を認め合える集団づくりの力量を高める必要
 - ▶ 学校を取り巻く環境や社会生活の変化を踏まえた**計画的な教育環境の整備**
- 多様なニーズを有する子ども・若者への支援
 - ▶ ニートや引きこもりなどの**困難を抱える子ども・若者への重層的な支援**の充実
 - ▶ 日本語指導が必要な子ども、経済的に恵まれない子どもへの支援の充実、専門性を備えた教員の育成
- 学びのセーフティネットの構築
 - ▶ **放課後の安心・安全な居場所の確保**や多様な体験・活動のための施設整備、人材確保、体制整備
 - ▶ **自殺や貧困の連鎖から子どもを守るためのチーム**として支える体制整備や多様な学習機会の提供
- 私学教育の振興
 - ▶ 少子化等による厳しい経営状況
 - ▶ 公教育の一翼として、独自の建学精神のもと**特色ある教育による人材育成**の役割

主な取組

- いじめ・不登校等悩みを抱える児童生徒の支援
 - ▶ **不登校児童生徒に対する学びの継続支援事業**
教育支援センター等への不登校支援コーディネーターの配置によるアウトリーチ支援や、ICT等を活用した学習支援
 - ▶ **高校生インターネット適正利用推進事業**
高校生がネット利用のルールづくり等を自ら考え行動する機会を創出(ICTカンファレンス大会開催)
 - ▶ **学校生活相談体制充実事業**
電話相談窓口やLINE相談窓口「ひとりで悩まないで@長野」設置
 - ▶ **スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの配置**
- 特別支援教育の充実
 - ▶ **特別支援学校改革推進**
自立活動担当教員・副学籍コーディネーター・就労コーディネーター配置等の体制整備、LD等通級指導教室設置推進、松本養護学校・若槻養護学校整備検討、スクールバス・教育環境整備
 - ▶ **医療的ケア体制整備**
看護師常駐配置、指導医派遣、教職員研修
 - ▶ **施設設備改修・修繕、就学奨励費**

主な取組

○ 多様なニーズを有する子ども・若者への支援

▶ 日本語が不自由な生徒のための高校生活支援事業

日本語が不自由な外国籍生徒及び帰国子女が速やかに適応できるよう県立高校に生活支援相談員を配置

▶ 外国籍等児童生徒指導研修事業

外国籍等児童生徒の指導方法等についての研修会を開催

▶ 障がい者チャレンジ雇用事業

就業機会拡大や企業就職に向けたステップアップのため県立学校等で障がい者チャレンジ雇用を実施

○ 学びのセーフティネットの構築

▶ 子どもの自殺対策推進

「SOSの出し方に関する教育」推進、ワークショップ開催、講師派遣

▶ 長期入院生徒への学習支援

長期入院中の高校生のためのICT機器を活用した遠隔授業や非常勤講師等による学習支援

▶ 放課後等体験・学習支援事業

余裕教室等を活用した「放課後子ども教室」推進、地域と協働した学習支援「地域未来塾」実施

▶ 高校生等奨学給付金給付・高等学校等就学支援金交付・高等学校奨学金等貸付

○ 私学教育の振興

▶ 学校運営費補助、就学支援金制度・授業料等軽減事業

現状等

○ 児童生徒(国公立・小中高特)のいじめ認知件数

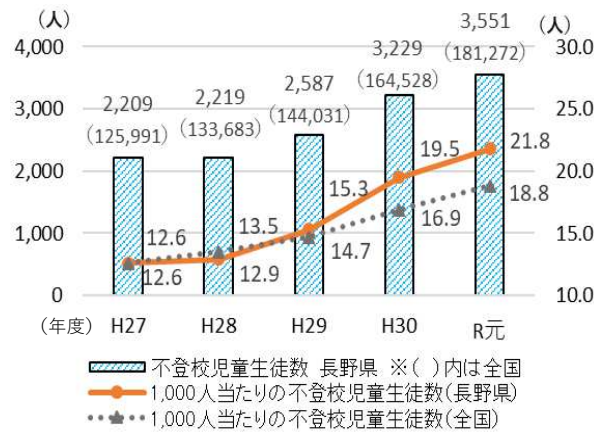
1,000人当たりの認知件数は、全国平均より低いものの、増加傾向。



(文科省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」)

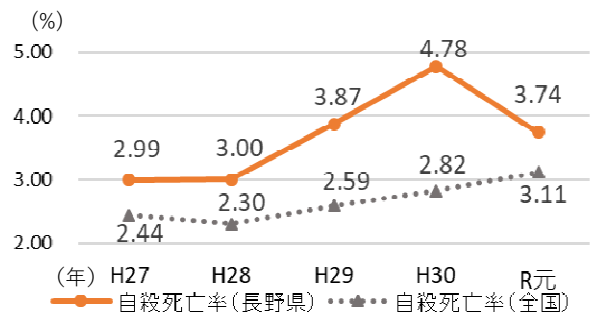
○ 不登校児童生徒数(国公立・小中)

1,000人当たりの不登校児童生徒数は、増加傾向。



○ 都道府県別自殺死亡率(20歳未満)

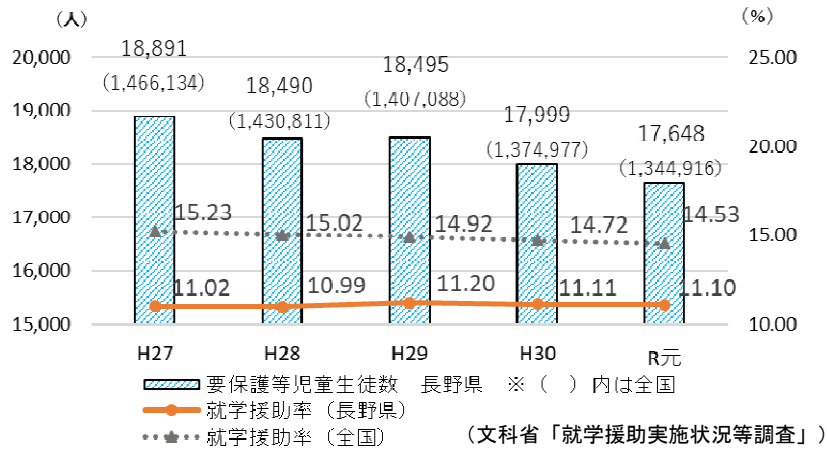
全国平均より高い水準。



(厚労省「人口動態統計」、総務省「各年10月1日現在人口推計」)

現状等

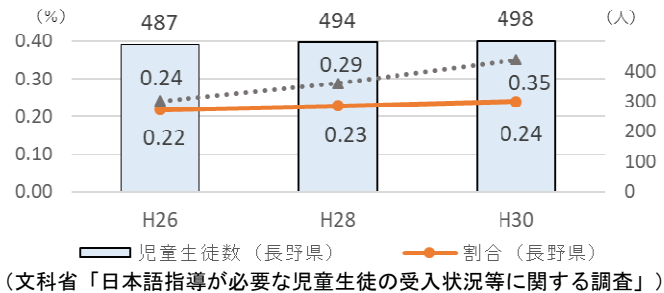
○要保護及び準要保護児童生徒数と就学援助率(小・中)
児童数は減少している一方、援助率は同程度で推移。



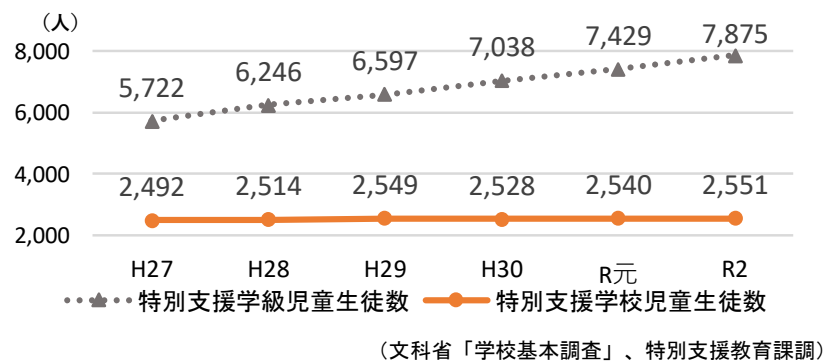
○奨学給付金受給者数と給付率(高)
生徒数、給付率ともに減少傾向。



○日本語指導が必要な外国籍児童生徒の割合の推移(小中高)

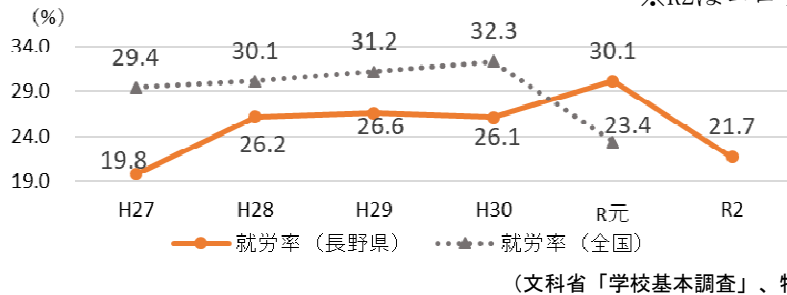


○特別支援学校・特別支援学級の児童生徒数(国公立)



○特別支援学校高等部卒業生の就労率

全国平均より低い傾向があるものの、H27からR元にかけて増加傾向。
※R2はコロナ禍の影響等



施策6「学びの成果が生きる生涯学習の振興」

背景・課題

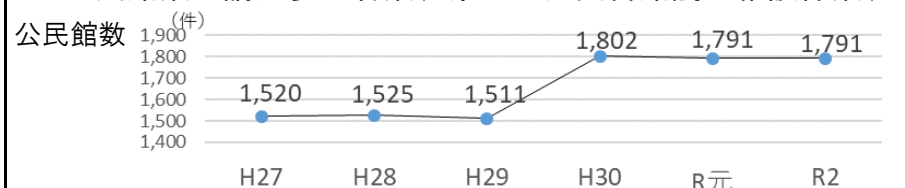
- 共に学び合い、共に価値を創る「みんなの学び」の推進
 - ▶ 自ら課題を見つけコミュニティで協働し解決策を導き出していく主体的創造的な行動(みんなの学び)
 - ▶ 県民が生涯にわたって学び続け、**地域の課題解決を主体的に担う**ことができる力の創出
- 社会課題に対する多様な学びの機会の創出
 - ▶ 急激な人口減少・高齢化、人生100年時代への突入
 - ▶ 様々なライフスタイルに応じた学びの情報の集約、**多様な学びの機会の創出**
 - ▶ 人権教育、消費者教育、環境教育の推進

主な取組

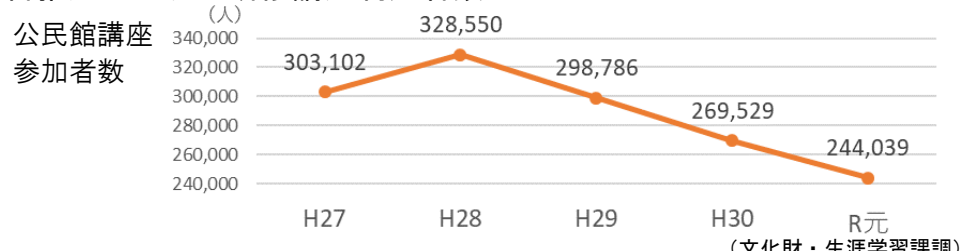
- 共に学び合い、共に価値を創る「みんなの学び」の推進
 - ▶ **生涯学習推進センター運営**
公民館・社会教育に係る研修、専門アドバイザー派遣、地域や市町村と協働した実践型講座開催
 - ▶ **公民館支援事業**
公民館の行う地域づくり活動につながる先進的な学びの優良事業を表彰
 - ▶ **県立長野図書館事業**
「信州・学び創造ラボ」開設・運営、「信州・知のポータル“信州ナレッジスクエア”」構築、県民の情報活用能力向上支援
- 社会課題に対する多様な学びの機会の創出
 - ▶ **社会人権教育推進事業**
人権教育推進地域、研究指定校の実践研究支援、市町村の人権学習事業支援、研修会研究会開催

現状等

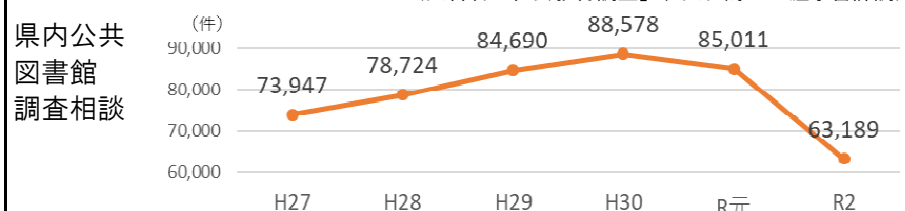
○ 公民館数・講座参加者数、県内公共図書館調査相談件数、生涯学習推進センター研修講座利用者数



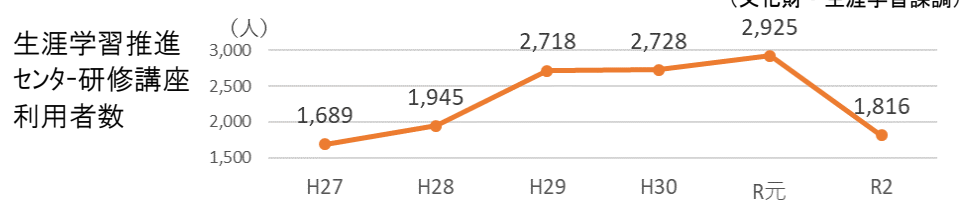
※社会教育調査（H27・H30）の結果による長野県の公民館数は全国1位
（文科省「社会教育調査」、文化財・生涯学習課調）



（文化財・生涯学習課調）



（県立長野図書館調）



（文化財・生涯学習課調）

施策7「潤いと感動をもたらす文化とスポーツの振興」

背景・課題

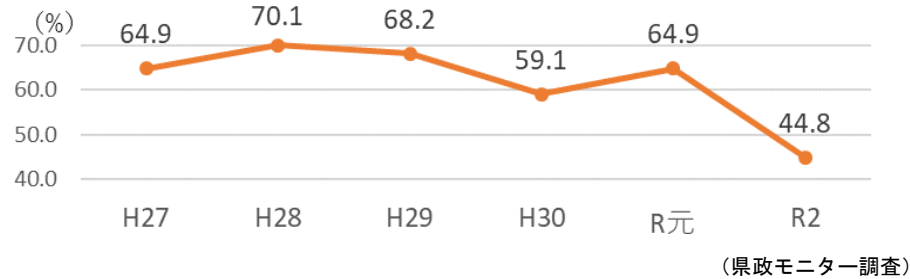
- 文化芸術の振興
 - ▶ 高齢者、障がい者などの**誰もが等しく文化芸術に親しむ機会**の拡大、環境整備
 - ▶ 美術館、文化施設の開かれた学びの場としての機能促進、若手芸術家の育成
- 文化財の保護・継承、活用
 - ▶ 県民の貴重な共有財産である文化財を安定的に保護し後世に継承
 - ▶ **文化財の防火防災、地域振興への活用、新たな価値を引き出し、再発見のための場や機会を提供**
- スポーツの振興
 - ▶ **すべての人がともに楽しめるスポーツイベント等の拡大、指導者の育成**
 - ▶ **スポーツ大会・合宿の誘致等の推進による地域経済の活性化、アスリートの就職支援**
 - ▶ 「国民スポーツ大会」「全国障害者スポーツ大会」を契機とした誰もがスポーツに参加できる文化の創造

主な取組

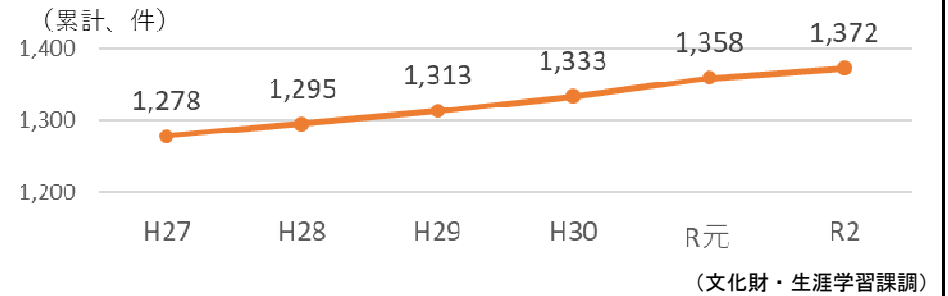
- 文化芸術の振興
 - ▶ **高等学校文化部活性化事業**
全国・ブロック大会出場生徒の参加経費補助、学校の枠を越えた文化部活動の取組支援
- 文化財の保護・継承、活用
 - ▶ **文化財修理及び防災事業**
所有者等が行う文化財の修理・防災に要する費用の一部を助成
 - ▶ **文化財レスキューガイドライン策定**
文化財レスキューガイドライン策定、レスキュー作業に必要な資材等の整備
 - ▶ **県立歴史館運営**
地域課題を捉えた調査研究、「お出かけ歴史館」開催、歴史館開館25周年を彩る数々の企画展の開催
- スポーツの振興
 - ▶ **生涯スポーツ推進事業**
総合型地域スポーツクラブ活動推進、幼少期からの運動の習慣化を目指す「長野県版運動プログラム」普及定着
 - ▶ **第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会開催準備、競技力向上**
競技者育成・若手指導者養成支援、地域スポーツ活動拠点構築、医科学サポート体制ネットワーク構築
 - ▶ **県立武道館運営**

現状等

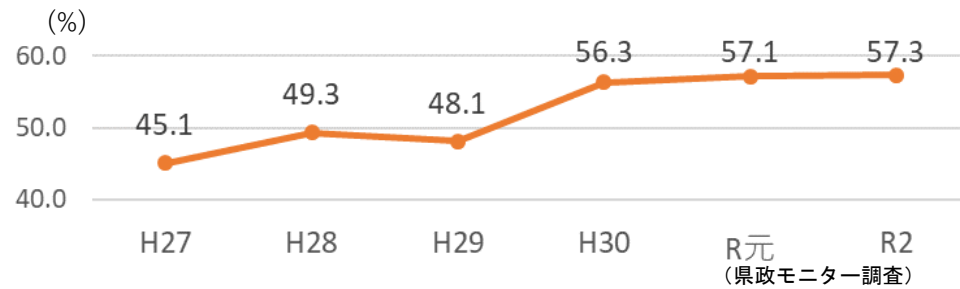
○ 過去1年間に文化芸術活動(鑑賞含む)を行った人の割合



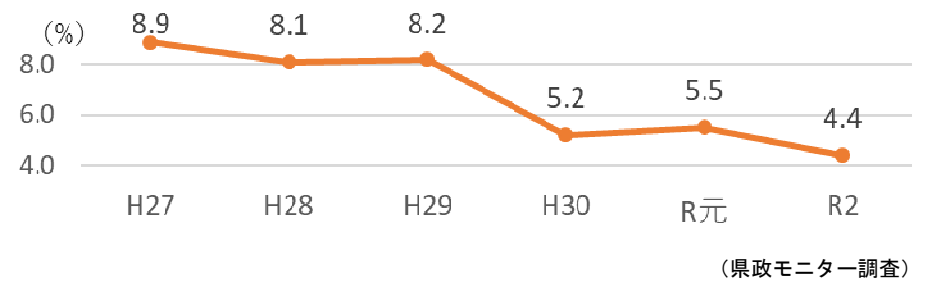
○ 国・県指定等文化財の件数



○ 運動・スポーツ実施率



○ スポーツボランティア参加率



○ 国民体育大会男女総合(天皇杯)順位

